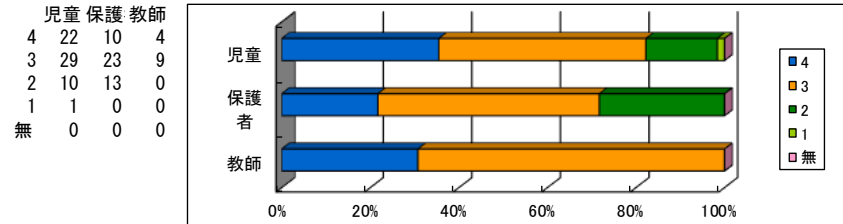


令和2年度 学校評価(12月実施) 旭川市立正和小学校

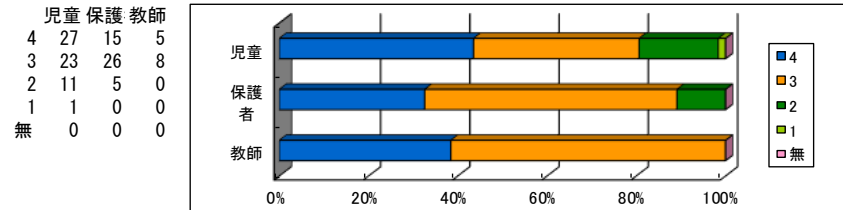
令和2年度 学校評価表 (三者用) 旭川市立正和小学校

2020/12/18

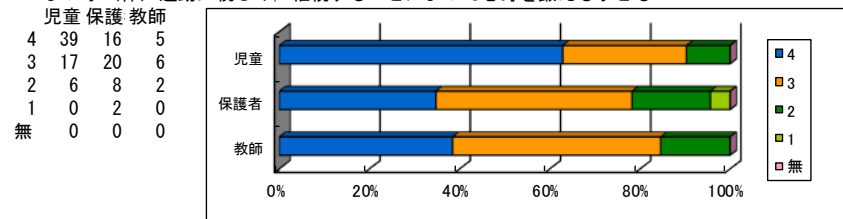
A1 考える子(知) 学習の仕方を身に付け、進んで課題を解決しようとする子ども



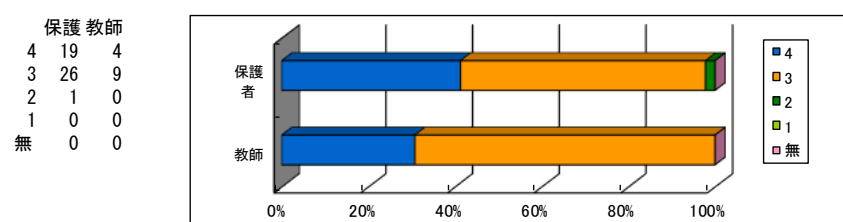
A2 やさしい子(徳) 気持ちの良い挨拶ができ、相手を思いやり、互いの良さを認め合って伸びようとする子ども



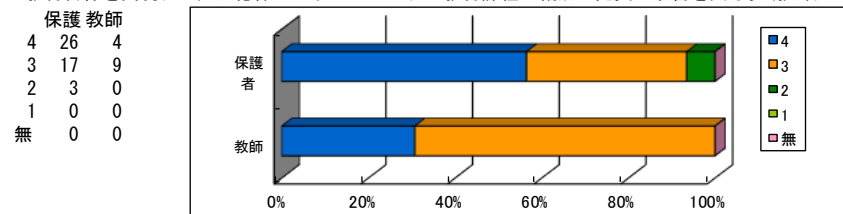
A3 つよい子(体) 運動に親しみ、継続することによって心身を鍛える子ども



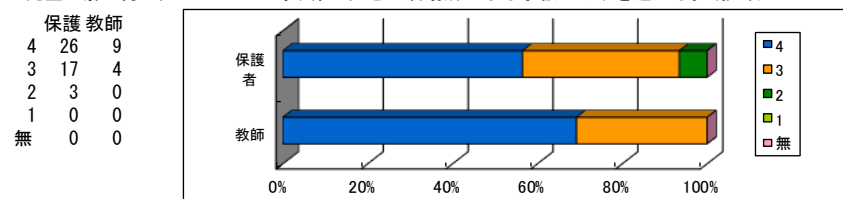
B1 学校は、教育目標や年度の重点をわかりやすく保護者に伝えている。(保護者) 組織的・計画的な内部評価や前・後期の学校評価等学校改善に生かす評価を工夫する。(教師)



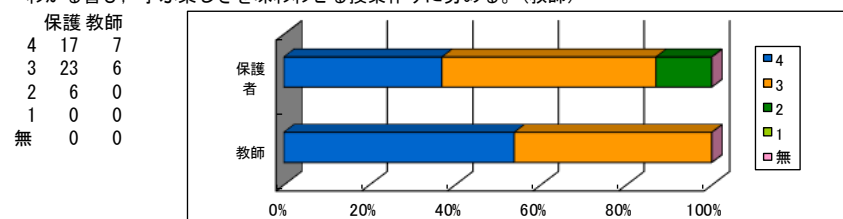
B2 学校は、子どもが明るく生き生きと学習や生活ができるよう指導している。(保護者) 教育目標を具現化し、知徳体のバランスのとれた教育課程の編成・充実・改善を図る。(教師)



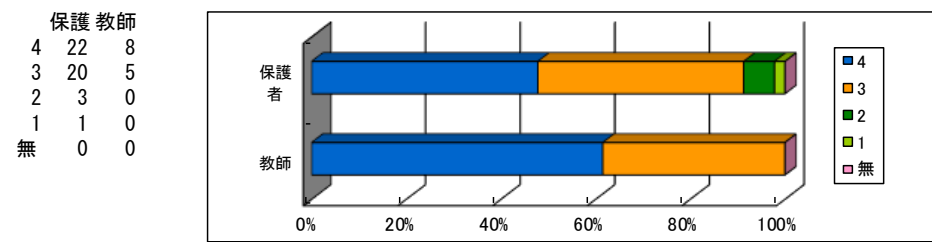
B3 学校は、子どもたち一人一人の良さを認め励ます学級づくりをしている。(保護者) 児童理解に努め、一人一人に寄り添い、心の居場所となる学級づくりを進める。(教師)



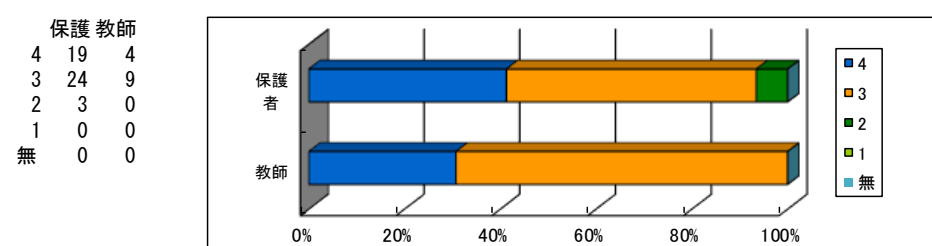
B4 学校は、子どもが自ら学び、意欲的に学習する姿勢を育成している。(保護者) わかる喜び、学ぶ楽しさを味わわせる授業作りに努める。(教師)



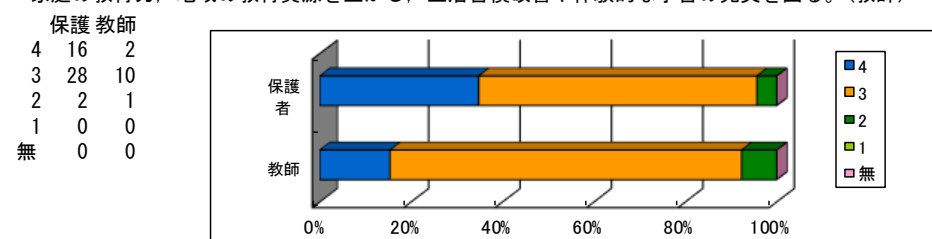
B5 学校は、いじめ問題行動の予防や早期対応に努めるなど危機管理体制を整えている。(保護者) 問題行動への早期発見・早期対応を行う(いじめへの積極的な認知を推進する)。(教師)



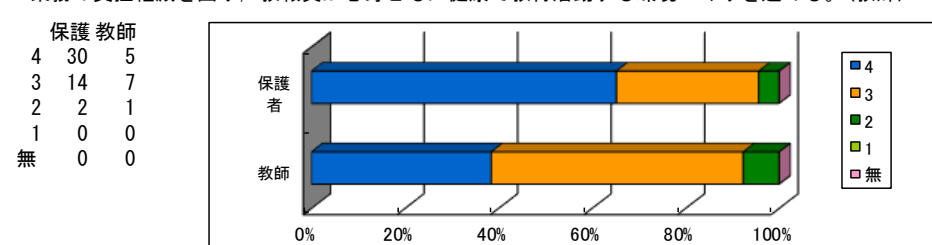
B6 学校は、ICTや図書活動など子どもの学習を支える学習環境づくりに努めている。(保護者) 教育環境を整え、校内外の環境整備を図る。(教師)



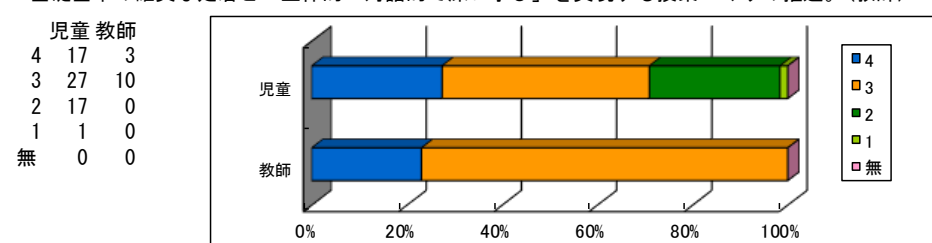
B7 学校は、基本的生活習慣の定着・体験的学習の実施等、家庭・地域と連携している。(保護者) 家庭の教育力、地域の教育資源を生かし、生活習慣改善や体験的な学習の充実を図る。(教師)



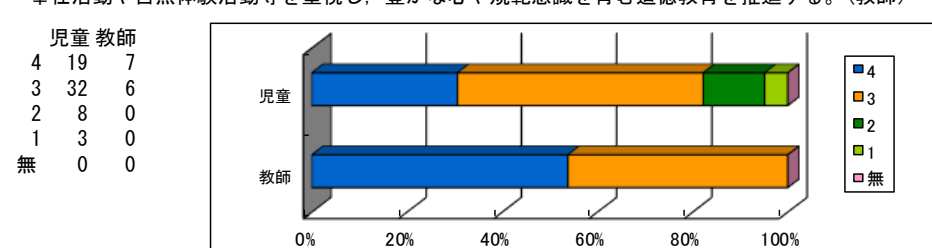
B8 学校は、教職員が心身ともに健康的で明るく子どもたちに接している。(保護者) 業務の負担軽減を図り、教職員が心身ともに健康で教育活動する環境づくりを進める。(教師)



C1 正しい姿勢で発表したり、ていねいに字を書いたり、友達と協力して学習できる。(児童) 基礎基本の確実な定着と「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりの推進。(教師)



C2 素直に自分の気持ちを話したり、相手の気持ちになって行動することができる。(児童) 奉仕活動や自然体験活動等を重視し、豊かな心や規範意識を育む道德教育を推進する。(教師)



○「一人一人を認め励ます学級づくり」等保護者・教師共に評価が高い。

一方、協働の取組として基本的生活習慣の定着が期待される。

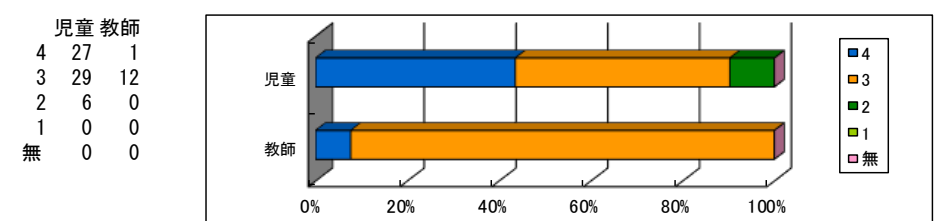
○運動に親しみ、継続して取り組もうとしている児童が多い。

※設問 A 学校目標 →児童、保護者、教師の共通評価項目

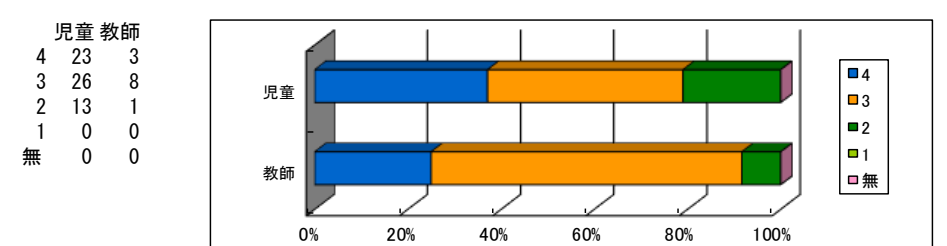
設問 B 経営活動の重点 →保護者、教師の共通評価項目

設問 C 指導の重点 →児童、教師の共通評価項目

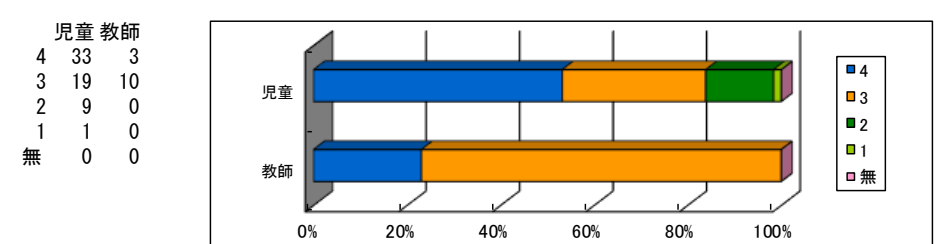
C3 しなければならないことを責任をもって取り組み、みんなのために働くことができる。(児童) 話し合い活動を充実し、仲間と協力する活動を通して、自己の責任感を養う。(教師)



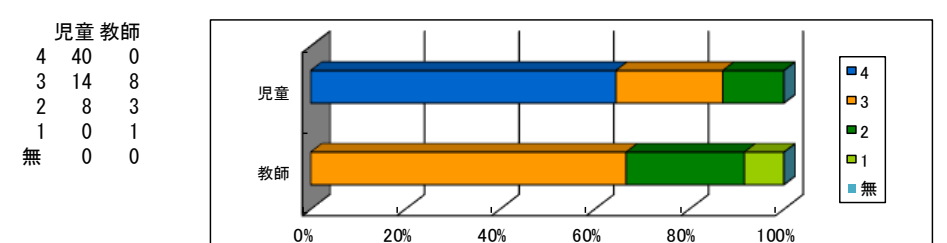
C4 授業では課題の解決にむけて、自分で方法を工夫するなど、自分から取り組んでいる。(児童) 自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組む態度を育てる。(教師)



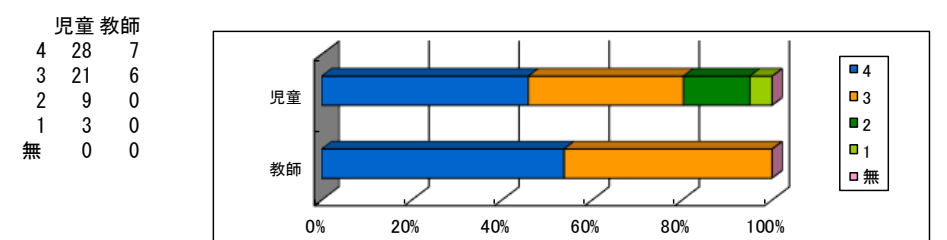
C5 いじめなどせず、やさしい気持ちで友達と仲よくすることができる。(児童) 児童理解・教育相談の充実を図り、共感的理解を中核とした指導体制を確立する。(教師)



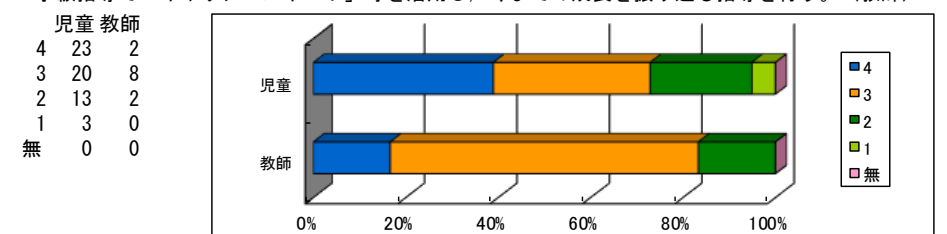
C6 目標を持って体育や体力づくりに取り組み、運動して丈夫な体を作ろうとしている。(児童) 新体力テスト等運動能力の分析と、体力向上に向けた体育指導の工夫と評価を行う。(教師)



C7 自分や友達の良さに気づき、互いに教えたり、手伝ったりすることができる。(児童) 一人一人のニーズに応じた支援指導を充実する。(教師)



C8 行事や学期の終わりに、自分の学習や生活の様子をふり返り、自信がついてきた。(児童) 学級指導で「キャリアパスポート」等を活用し、今までの成長を振り返る指導を行う。(教師)



▲かんがえる子(知),「進んで課題解決する力の育成」を始め、評価指標

を再検討し今後評価を行っていく(設問 A1, C1 等)

▲児童の「自己肯定感」を醸成しつつ、「2, 1」の評価の引き上げを図る。

※「児童、保護者、教師」で評価の分かれている項目に注目しながら、
今後学校改善を図っていきます。